

京友鶴よ、セーヌを渡れ

~Des grues origami traversent la Seine 2023~

京友禪とは？

京友禪は宮崎友禪齋（みやざきゆうぜんさい）によって作られた日本三大友禪の一つ。

江戸時代の京都で生まれ、友禪染という染色技法を使い、刺繍や金銀箔が施されて作られている。

株) 岡山工芸様にインタビュー

Q: 京友禪の魅力を広めるためにはどうすれば良いと考えますか？

京友禪の魅力を感じるためには、まず着物に手を触れ、実際に目で見て欲しいと考えている。

Q: 海外のお客さんは頻繁に来られますか。

コロナ前まではたくさん観光客が来ていた。日本人より興味を持ってくれたため、たくさん話した。

Q: 京友禪を巡る問題はどのようなものですか？

着る人がいないこと。着る人がいないと仕事もなくなり、値段が下がる。新しい提案が必要。

私たちのアイデア



京友禪を広めることで日本の文化と伝統産業を知ってもらうことを目的とする。

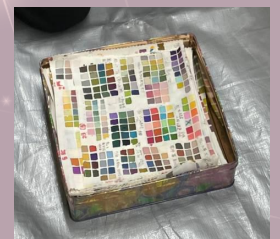
フランス人など、外国人をターゲットにする。日本人ももちろん参加可能であり、様々な人々に興味を持ってもらいたい。

七夕の日の夜7時頃、パリのセーヌ川にライトアップされた京友鶴を流す。

京友鶴とは:
京友禪の柄で作られた折り鶴。
平和の象徴。



最近話題の着物レンタルなどを企画し、京友鶴を鑑賞しながら京友禪の着物を実際に着てもらう。



周辺で募金を行い、集めたお金で衰退している京都の伝統産業を支える。



京友禪の柄は日本のものもあれば、フランスの要素を取り入れたものもある。